

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1	当初	事項	県立学校庶務事務システム導入事業費							予算主管課	教育総務課
		事業概要	全ての県立学校に庶務事務システムを導入し、総務系事務の効率化及び負担軽減を図ること で、学校現場全体での業務の見直しを積極的に進め、教員の時間外勤務の縮減につなげる。							始期	R5
										終期	R6
	K P I	県立学校庶務事務システム開発進捗率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5～R5年度	時点・期間	R5～R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	— %	目標値	64 %	目標値	100 %	目標値	— %	目標値	— %
				実績値	64 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計予算額	132,756 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額			132,209 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析		評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 総括（事業最終年度の場合、要記入。）								
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績は想定どおり目標値を達成できており、6年度もこのまま進捗すれば、KPIは達成すると考えられることから、6年度の執行方法の見直しは想定していない。								
2	当初	事項	学校問題解決支援事業費							予算主管課	高校教育課
		事業概要	学校で起こる生徒指導上の諸問題を解決するために、高度な知識・技能を持った専門家（スクールロイヤー及びガーディアンズ）が専門的な立場から問題解決を支援する。							始期	H30
										終期	
	K P I	スクールロイヤーへの相談回数及びスクールガーディアンズの派遣回数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	令和4年度	時点・期間	令和5年度	時点・期間	令和6年度	時点・期間	令和7年度	時点・期間	令和8年度
		現状値	53 回	目標値	56 回	目標値	59 回	目標値	62 回	目標値	65 回
				実績値	40 回	実績値	回	実績値	回	実績値	回
				達成率	71.43 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計予算額	2,232 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額			1,719 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析		評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） コロナ禍の影響がなくなり、通常の学校生活に戻ったことで、生徒間の接触が増え、コミュニケーションが増加し、人間関係等のトラブルが減少したため、KPIの相談・派遣回数が前年比25%減少したものと考えられる。 総括（事業最終年度の場合、要記入。）								
	見直し方向性	改善	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 同事業における相談・派遣内容の事例について、令和6年度から、公立学校に周知することにより、KPIの向上につなげる。								

3	当初	事項	県立学校専門スタッフ配置事業費							予算主管課	高校教育課	
	事業概要	スクール・サポート・スタッフ、ICT教育支援員、大学生スクールサポーターの配置により、学校のチーム力を強化し、教員が子どもに向き合う時間を確保することで、教育の質の向上、教員の負担軽減、優秀な人材の確保を図る。								始期	R4	
										終期		
	K P I	スクール・サポート・スタッフ、大学生スクールサポーター配置校における時間外勤務月80時間超の教員の割合										
		KPI種別	下がるが良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度	
		現状値	22.9 %	目標値	0 %	目標値	0 %	目標値	0 %	目標値	0 %	
				実績値	16 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%	
				達成率	0.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%	
	コスト		最終現計予算額	81,513 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
決算額			66,246 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>スクール・サポート・スタッフ、大学生スクールサポーターの配置を実施したことで、教員の負担が軽減し、数値の減少に向けて順調に推移している。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>										
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>5年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、6年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。</p>									

4	当初	事項	県立学校校務支援システム維持管理費							予算主管課	高校教育課	
	事業概要	統合型校務支援システムの運用・更新を行う。								始期	H30	
										終期		
	K P I	安定稼働率										
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度	
		現状値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	
				実績値	100 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%	
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%	
	コスト		最終現計予算額	53,601 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
決算額			52,598 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>										
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>5年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、6年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。</p>									